予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算 支出科目款:警察費項:警察活動費 目:一般警察活動費

事 業 名 |新|自動ガイダンス装置整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 警務部 警務課 電話番号:058-271-2424(内2611)

E-mail: c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

14.932 千円 (前年度予算額:

0 千円)

<財源内訳>

				財	源	内	訳		
区分	事業費	国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一般財源
前年度	0	0	0	0	C	0	0	0	0
要求額	14, 932	0	0	0	C	0	0	0	14, 932
決定額	7, 442	0	0	0	C	0	0	0	7, 442

2要求内容

(1)要求の趣旨(現状と課題)

県下の警察署では、不要不急の電話などが相当数あるため、それらが回線を占領するほか、電話対応署員の業務負担となっている現状がある。また、当直時間帯は、限られた人数で全ての警察事象に対応しなければならないが、不要不急の電話への長時間の対応は、真の警察事象への対応に支障を及ぼすこととなる。特に、人身安全関連事案を始めとする生命・身体に危害が及ぶおそれのある事案には、一人でも多くの署員が必要となるため、不要不急の電話対応を極力減らす必要がある。

(2) 事業内容

警察署の代表電話の受信応答時に音声ガイダンスを流し、架電者が対象の番号を押下することで、担当者に自動転送するとともに、当該電話への発着信通話を録音するための装置を設置する。

(3) 県負担・補助率の考え方

限られた県の警察力を真に必要な業務に投入することが可能となるものであるため、県費にて負担することが妥当である。

(4)類似事業の有無

令和4年度から警察本部総合当直室に音声ガイダンス・通話録音装置を設置

3 事業費の積算 内訳

- 7 7 1 7 7 7 7 7	71 · • H/ •	
事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	14, 707	機器購入費(県下4警察署に設置)
業務委託料	225	機器保守費
合計	14, 932	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略 Ⅱ-2-(2)-⑤ 犯罪・交通事故防止の推進

- (2) 国・他県の状況
 - 複数県警で導入済み。またその他の県警においても導入を検討中である。
- (3) 事業主体及びその妥当性 警察署に設置する装置であり、事業主体は、岐阜県警察が妥当である。

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

	新	規	要	求	事	業	
П	継	続	要	求	事	業	

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

警察活動の高度化・合理化を図り、将来にわたって県民を犯罪・交通事故から守る ための取組みを推進する。

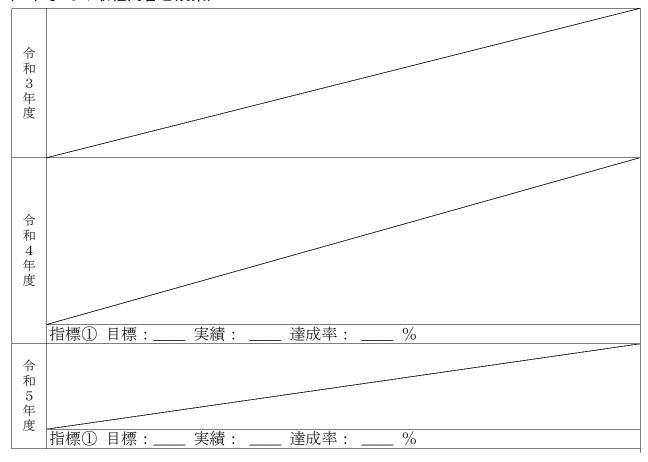
(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
1						
2						

〇指標を設定することができない場合の理由

装置の設置による効果については、特定の指標を設定することが困難である。

(これまでの取組内容と成果)



2 事業の評価と課題

(事業の評価)

• 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3:期待以上の成果あり

2:期待どおりの成果あり

1:期待どおりの成果が得られていない

0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

人身安全関連事案を始めとする生命・身体に危害が及ぶおそれのある事案には、一人でも多くの署員が必要となるため、不要不急の電話対応を極力減らす必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

装置設置による効果等を検証し、その他の警察署への導入を検討する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	